

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-544
研究課題名 膵臓手術後における脂肪肝発症および関連因子の探索
研究期間 西暦 2014 年 12 月（倫理委員会承認後）～2016 年 3 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（カルテ情報）
上記材料の採取期間 西暦 1999 年 1 月～2014 年 10 月
意義、目的 近年の医学の進歩により以前はあまり顧みられることが少なかった、膵切除術後の長期合併症として膵切除術後の脂肪肝が注目されるようになっている。 本研究の目的は、膵切除後の脂肪肝と臨床的な因子を比較することで、脂肪肝発症の原因・危険因子を推測・同定することである。本研究では、脂肪肝発症に関わる臨床的な要因を同定することで、脂肪肝発症が強く疑われる症例を早期に選び出すことが可能となり、早期の診断・治療の対象とできる。さらに数ある膵酵素剤の中から、現時点でより有効な膵酵素剤や治療薬の選定も可能になると考えられる。
方法 1999 年 1 月～2014 年 10 月の間に大学病院肝胆膵外科（旧第一外科）において膵切除術を施行した症例の、術後脂肪肝発生と臨床データとの関連を解析する。 脂肪肝は術後の CT 値にて定義し、他の臨床データとしては、年齢、性別、採血データ、身長・体重、排便状況、食欲、周術期の膵液量、ドレーン排液量とアミラーゼ濃度、術後抗癌剤投与の有無と内容、術後の膵酵素剤投与の有無と内容、さらに原疾患と術後生存期間、もし悪性腫瘍であれば腫瘍の進展度と無再発生存期間、をカルテより抽出する。術後の脂肪肝を目的変数に、臨床データを説明変数として単変量および多変量解析を行い、術後脂肪肝に関わる臨床因子の選別を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院 肝胆膵外科・胃腸外科・石田晶玄 電話：022-717-7740